



平成 18 年 4 月 20 日

各 位

不動産投信発行者名  
福岡市博多区住吉一丁目 2 番 25 号  
福岡リート投資法人  
代表者名 執行役員 松尾 正俊  
(コード番号 : 8968)

問合せ先  
株式会社福岡リアルティ  
専務取締役財務部長 沖田 尚  
TEL. 092-272-3900

投資信託委託業者における取締役の変更予定に関するお知らせ

本投資法人が資産の運用を委託している投資信託委託業者である株式会社福岡リアルティにおいて、平成 18 年 4 月 20 日に取締役会を開催し、取締役の変更について、平成 18 年 6 月 23 日開催予定の定時株主総会に付議することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、取締役候補の茶木正安は、定時株主総会にて取締役に選任された後、同日の取締役会において代表取締役社長候補として付議される予定です。

記

1. 新たに就任予定の取締役（平成 18 年 6 月 23 日付）  
代表取締役社長 茶木<sup>さき</sup>正安<sup>まさやす</sup>（新任）

※新任予定取締役の略歴等は別紙のとおりです。

2. 退任予定の取締役（平成 18 年 6 月 23 日付）  
代表取締役社長 松尾 正俊

なお、本件に関しましては、投資信託及び投資法人に関する法律の規定に従い、取締役の氏名の変更として金融庁長官に届け出ます。また、宅地建物取引業法の規定に従い、取締役の氏名の変更として国土交通大臣及び福岡県知事に届け出ます。

以上

株式会社福岡リアルティは、代表取締役社長松尾正俊の任期2年超の間に、わが国初となる地域特化型不動産投資信託「福岡リート投資法人」の設立並びに東京証券取引所・福岡証券取引所への上場を実現し、大規模商業施設やAクラスオフィスビルを中心とした物件取得、開発物件の取得契約締結や匿名組合優先出資等を行うなど、資産規模の着実な成長を図ってきました。

平成18年は、株式会社福岡リアルティ、福岡リート投資法人にとりまして、持続的な成長に向けた新たなステージへと飛躍するための転換期となります。

この節目に当たり、株式会社福岡リアルティは、茶木正安新任予定取締役を迎え、福岡リート投資法人の優良資産による規模拡大と着実な運用を実現し、投資主利益の最大化を図っていく考えです。



#### ■退任予定取締役(現 代表取締役社長) 松尾正俊コメント■

私、松尾 正俊は、福岡リート投資法人の運用会社である株式会社福岡リアルティの社長を本年6月株主総会を以って退任することになりました。地域特化型リートを立ち上げるというコンセプト作りから足掛け3年にわたり、それまで多くの投資家に紹介されることの少なかった福岡・九州の不動産で福岡リート投資法人を組成、上場を実現し、ようやく資産規模1,000億円が見える規模にまで成長させる業務に邁進してまいりました。スポンサーの皆様への熱い志と、証券会社をはじめとする関係各位および株式会社福岡リアルティ社員全員の努力でここまで来られたことを思うと、この「地域経済と資本市場をつなぐ新しいビジネスの創出」という機会に恵まれたことに心より感謝しております。

このたび、成長期に入った福岡リート投資法人の舵取りを、国内外のファイナンスに精通した茶木 正安(さき まさやす)氏にバトンタッチする方向で、既に本年4月より顧問に就任願っています。茶木顧問においては、ファイナンス、海外経験、格付けの論理など私とは違った切り口を活かし、投資家への説明責任に応える良質なリートとして、福岡リート投資法人を更なる高みへ導いてもらえるものと信じております。

私は今後、福岡地所株式会社を中心とした地元スポンサーの皆様のご協力を得ながら独立し、「株式会社玄海キャピタルマネジメント(仮称)」を設立、福岡・九州を中心とした不動産・金融のアドバイザービジネスを立ち上げることとなりました。地元においてまだ発展の余地ある不動産・金融分野で、より効率的な不動産所有・利用形態の追求、不動産ファイナンスの様々な手法のご案内など、地域経済の成長に資するサービスをリートとは違った形でご提供したいと考えております。開発を含めた不動産のファイナンスをアレンジしながら、福岡リート投資法人の成長のお手伝いも外から担わせていただければと存じます。

最後に、現在30人にまで増えた若くてやる気に満ちた株式会社福岡リアルティの全員が、茶木新社長のもとで良質なポートフォリオ、優秀な管理体制、十分なアカウンタビリティ、そしてLocalなアプローチとGlobalな視点を保ちながら、志高く、福岡リート投資法人の運営を続けることを確信して、ご挨拶の言葉に代えさせていただきます。ご支援、ありがとうございました。

## ■新任予定取締役 茶木正安コメント■

本年6月の株主総会決議を経て、株式会社福岡リアルティ代表取締役に就任予定の茶木正安でございます。投資家の皆様にご挨拶とともに所信の一端を述べさせていただきます。

私は、直近までフィッチ・レーティングス・ジャパンのCEO（最高経営責任者）を務め、格付け機関という逆の視点からJリート業界を俯瞰しておりました。Jリート業界では、上場銘柄数も30を超えて40に達する見通しの中で、物件取得競争のみならず、資本市場からの支持獲得競争も激しさを増すことが予想されます。かかる環境下、福岡リート投資法人は、地域特化型という特徴を最大限に活用して他との差別化を図り、投資主の皆様には選ばれるリートとなることを目指していかねばなりません。

そのため私は、株式会社福岡リアルティの全役職員とともに今一度原点に帰って、「全国および世界の投資家にデリバリーすべき、福岡・九州地域の不動産投資の妙味とは何か」、「私ども地域アセットマネージャー、地域スポンサーネットワークが生み出せるローカル優位性とは何か」ということを真剣に再定義し、課題の洗い出しを進め、改善・強化のためのアクションプランを着実に進めていく所存です。金融、資本市場サイドからJリート経営に飛び込む者であるからこそ、むしろ見つけやすい課題があるはずですが、福岡リート投資法人は他リートに先んじ、これまで以上のチャレンジを続けていかねばならないとの思いに、身が引き締まる思いしております。

1. 財務面については、懸念される金利上昇圧力をヘッジするためにも金利固定化比率を高めるとともに、更なる成長のためのファイナンス力強化を目指します。
2. 保有物件の運用については、景気回復というフォローの風をしっかり受け止め、収益および分配金の増加に繋げられるスキーム構築に取り組んでまいります。売上連動賃料制の効果的な運用を進め、好況（金利上昇）期において相対的な投資メリットを損なわないような商品作りに努めていきます。
3. 物件取得については、スポンサーの福岡地所株式会社との連携をより強固にし、松尾社長の掲げた2008年末1,600億円の資産規模達成に強い意思で臨みます。地域有力企業とのパイプを活かし、過度な物件取得競争を避け、適正価格・高品質での外部成長を実現します。この度の九州旅客鉄道株式会社の新規スポンサー参加も、地域不動産情報の収集力強化に寄与するものと期待しております。

福岡リート投資法人を今日まで率いてきた松尾社長には、株式会社福岡リアルティへのアドバイザーの役割を継続して担っていただきます。皆様に対するこれまでのコミットメントはしっかりと受け継ぎ、さらに金融の視点で私なりの付加価値をつけられるよう全力を尽くす所存ですので、これまで同様温かいご支援を宜しくお願い申し上げます。

■新任予定取締役プロフィール■



氏 名 茶 木 正 安

生年月日 昭和 21 年 7 月 17 日

出身地 東京都

学 歴

昭和 44 年 3 月 慶応義塾大学商学部卒業

昭和 51 年 5 月 ペンシルヴァニア大学ウォートン・スクール経営学修士 (MBA)

昭和 63 年 12 月 ロンドン大学ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス経営学修士 (MPh)

職 歴

昭和 44 年 4 月 日本不動産銀行 (後、日本債券信用銀行、あおぞら銀行) 入行

昭和 62 年 6 月 Nippon Credit International (証券現法) 社長

平成元年 8 月 国際証券部長

平成 4 年 6 月 取締役東京支店長

平成 6 年 2 月 取締役金融開発部長

平成 7 年 6 月 取締役営業企画第二部長 (融資部門の本部)

平成 8 年 6 月 常務取締役

平成 10 年 6 月 専務取締役

平成 11 年 11 月 株式会社 CSK 理事

平成 12 年 11 月 三洋信販株式会社 専務執行役員

ポケット・カード株式会社取締役

住商ポケットファイナンス取締役

平成 15 年 7 月 フィッチ・レーティングス・ジャパン (世界三大格付機関の一つ)

CEO (最高経営責任者) 就任

平成 17 年 12 月 同社退任

平成 18 年 4 月 株式会社福岡リアルティ 顧問就任

その他事項 不動産鑑定士補

学習院大学経済学部非常勤講師

(平成 14 年 4 月～平成 17 年 3 月)

以上

※本資料の配布先

兜クラブ、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会、福岡経済記者クラブ、福岡証券金融記者クラブ

※本投資法人のホームページアドレス <http://www.fukuoka-reit.jp>